

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

Vol. 21

2009.1

Kashiwaba Neurosurgical Hospital

2009年 年頭挨拶

柏葉脳神経外科病院 理事長／院長 金子 貞男

患者さんを寝たきりにしないために
脳梗塞急性期の治療内容を
さらに強化しています

部門レポート／薬剤科

2009年
年頭挨拶

柏葉脳神経外科病院
理事長／院長 金子 貞男



柏葉脳神経外科病院が開院して38回目の新年を迎えました。スタッフ一同が力を合わせて、「患者さんのQOLとその継続性」を特に大切にし、患者さんや地域の医療機関から信頼される医療を提供したいと決意を新たにしております。

今年も地域の皆様の健康と幸せを支えるために、脳血管障害の早期発見・早期治療はもちろんのこと、「後遺症を残さない脳梗塞の治療」に力を注いで参ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

脳梗塞の治療は早ければ
早いほど、後遺症が少ない

日本人の脳血管障害の中で最も多いのが脳梗塞です。脳の血管が詰まることで、脳細胞の一部が壊死し、手足のマヒや言語障害などさまざまな障害を残します。

当院では脳梗塞発症直後に有効な血栓溶解

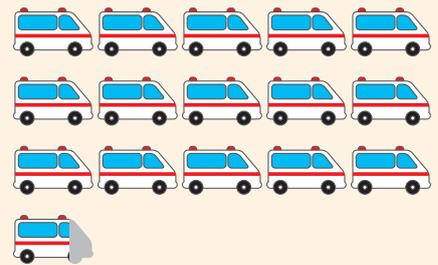
患者さんを 寝たきりにしないために 脳梗塞急性期の治療内容を さらに強化しています

手術件数統計

原因	(%)	原因	(%)
脳血管障害	46.8	機能的科	0.5
脳腫瘍	11.8	外傷	21.1
脊椎外科	1.1	その他	18.7

救急医療統計

救急車搬送患者数
1,571人



= 100人

地域	(%)	地域	(%)
豊平区	38.0	東区	0.3
清田区	21.7	西区	0.5
白石区	10.1	北区	0.5
南区	4.8	手稲区	1.0
中央区	3.4	その他	16.9
厚別区	2.9		



【医療機関の皆さまへ】

柏葉脳神経外科病院では、24時間365日急患を受け入れています。脳血管障害の早期発見から早期治療、適切なリハビリテーションに対応できる高いスキルを持った専門スタッフが随時待機しています。

24 時間 365 日受付
電話 011 - 851 - 2333

血栓溶解療法は、脳梗塞の発症後3時間以内にt-PAという薬を静脈から投与しなければ効果がありませんが、脳梗塞を発症した患者さんやご家族にお話を伺うと、脳梗塞の症状が出ているにも関わらず「一晩様子をみてから」と受診が遅れ、血栓溶解療法を受けられなくなってしまうケースが少なくありません。

脳梗塞の治療は時間との勝負です。脳梗塞が疑われたら、すぐに救急車を呼び、専門病院で受診してください。

様子をみたことから 寝たきりになることも

療法に2005年12月から取り組み、2008年12月末までに100例近い実績を積みんでいます。当院で血栓溶解療法を受けて退院し、以前と同じように日常生活が送れるようになった患者さんが多数います。

脳梗塞の発症を いち早く確認するポイント！

片方の手足がしびれる、足がもつれる、手足に力が入らない、ろれつがまわらない、言葉がとっさに出てこない、ものが見えにくい

こんな症状が1つでもあれば脳梗塞が疑われます。少し様子をみようなどとは考えず、すぐに119番で救急車を呼ぶか、当院で受診してください。

今後当院では、万が一の時に安心して受診していただけるよう、医療技術を高めるだけでなく、患者さん1人1人の大切な命や幸せを支える医療体制づくりに取り組んで参ります。

365日無休で行う リハビリテーション

脳梗塞後のQOL（生活の質）を少しでも改善させるためには、入院した翌日、寝たまの状態でリハビリテーションを行うことが重要であることがわかってきました。

そこで、当院では昨年からは年中無休で患者さんに必要なリハビリテーションを必要な時に提供する体制を整え、大変良い治療結果を得ています。

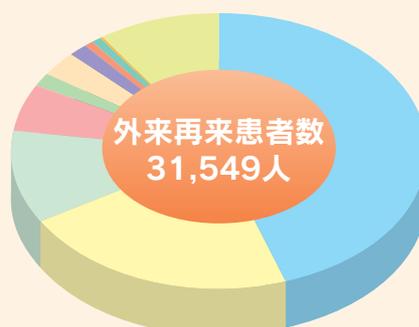
柏葉脳神経外科病院 2008年実績

来院者数統計(地区別)

地域	(%)	地域	(%)
豊平区	47.0	東区	1.5
清田区	21.6	西区	0.5
白石区	9.9	北区	0.7
南区	4.0	手稲区	0.2
中央区	2.1	その他	10.0
厚別区	2.4		

地域	(%)	地域	(%)
豊平区	44.8	東区	1.5
清田区	21.7	西区	0.7
白石区	10.9	北区	0.7
南区	5.5	手稲区	0.2
中央区	1.6	その他	9.5
厚別区	2.9		

地域	(%)	地域	(%)
豊平区	41.3	東区	0.5
清田区	20.7	西区	0.4
白石区	11.8	北区	0.8
南区	4.7	手稲区	0.1
中央区	2.5	その他	14.3
厚別区	3.1		



病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

部門レポート

薬 剤 科

科長…島田 郁子
主任…馬場 尚希
ほか薬剤師 2名、助手 1名

365日

医薬品を供給しています

二重チェックで安全対策を強化

薬剤科では365日対応の勤務体制で、入院患者さんの薬の調剤、薬剤管理、服薬指導、医薬品の情報提供など多岐に渡る業務を行っています。脳・神経の専門病院であることから、緊急入院や予定外の注射薬の処方、高カロリー輸液の調整業務が多いのが特徴です。

患者さんの薬歴や調剤に関する情報は全てコンピュータ入力し、薬剤の重複や相互作用を確認し、安全で有効に医薬品が使われるように管理しています。入院患者さんへの調剤は1回分を1包装し、注射薬は個人ごとに1日分をセツ



薬歴や調剤に関する情報はコンピュータで管理



入院患者さんの注射薬は個人ごとにセツト。薬剤の過不足や誤調剤を防いでいます



食事がとれない患者さんに必要な高カロリー輸液は無菌環境で調製しています

ト。指示箋と処方薬剤を他の薬剤師が確認するなど二重チェックを行っています。また、患者さんが持参された薬剤を鑑別し、必要時には調整するなど、きめ細かい持参薬管理をしています。他医療機関や調剤薬局との連携も重要な作業です。

情報を集め、情報を提供する

退院時の服薬指導では、ご家族も一緒に面談し、文書や処方内容シールを渡しながらか丁寧な説明を行います。

急性期病棟では毎朝多職種が参加するカンファレンスを行います。私たちが薬剤師も同席し、患者さんの病状、治療方針、副作用などを常に確認しています。また、「医薬品情報ニュース」を随時発行（2008年は18回）し、薬の使用方法や副作用情報などを医師や看護師など

編集後記

「風邪」とか「インフルエンザ」という言葉について敏感になってしまっていますが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

今年のインフルエンザは、新型、鳥耐性などのキーワードとともに様々な情報が飛び交っていますが、まずは手洗い・うがい・マスクなどの基本的な風邪の予防策と部屋の保温と加湿が効果的といえます。北海道の冬はこれらが本番です。体調管理には十分ご留意ください。（小川）

2009年がスタートして早ひと月が経とうとしています。この時期、

へ提供。「医薬品に関する情報は全て薬剤師が」という姿勢で日々業務に取り組んでいます。